



今月の題字

佐藤 智くん
(荒川小2年)

町のわたし

わたしの主張岩手県大会 高橋はるかさん(山田中3年)が優秀賞

9月24日に盛岡市で開かれた第11回わたしの主張岩手県大会で、山田中3年の高橋はるかさんが優秀賞を受賞しました。高橋さんは「小さい喜びを大きな幸せに」をテーマに発表。難病をかかえる妹との生活を通し「自分とは違って、一人の人間として向き合うことで互いを大切にできる」と訴えました。高橋さんは「自分の考えを多くの人に伝えられたと思う。一人一人生きる環境は違うが、誰もが身の回りにある小さな喜びを見つけ幸せに過ごしてほしい」と話していました。



喜寿を祝う会に134人 心温まる踊りに大きな拍手

10月3日、喜寿を祝う会が町中央公民館を会場に開かれました。長い間社会のために尽くされ、めでたく喜寿を迎えられた皆さんに対して感謝と敬意を表するため、77歳の方を対象に全地区合同で行われているもので、当日は対象者268人のうち134人が出席。アトラクションとして婦人団体協議会や老人クラブなどによる踊りが披露されたほか、招待者らもカラオケに参加して楽しみながら、共に長寿を祝い合いました。中でも轟木児童館園児による鶏舞や大沢保育園園児による八木節が披露されると、園児らの心温まる踊りに会場中から大きな拍手が送られていました。

三陸やまだ漁業協同組合 町内4漁協合併により発足

10月1日、町内の4漁協が合併し、三陸やまだ漁業協同組合が発足しました。同漁協の本所となる山田漁業協同組合連合会で同日行われた開所式には、県内漁協関係者や来賓ら50人が出席。式では始めに看板の除幕を行い、新組合の船出を祝いました。生駒利治組合長はあいさつで「輸入水産物の増加や後継者不足などにより、漁業を取り巻く環境は厳しさを増している。経営基盤を盤石なものとし、組合員の負託に応えられる漁協の構築にまい進、努力する」と決意を述べました。新漁協は大浦・織笠・山田湾・大沢の4漁協が合併したもので、合併後の組合員数は1156人、県内で4番目の規模となります。

